

自然との共生

木の実が成らず、鳥の姿をあまり見ないまま入った冬。雪も少なく暖かい冬でしたが、いつも見られる姿も群れも少ないまま春が来ました。たまたまなのか、気候の変化や他の理由なのか分からないけど、身の回りの自然は確実に変化し続けている事を日々感じています。

こんな話があります。毛沢東の時代に中国で国内の四大害虫(ネズミ、蚊、ハエ、スズメ)を駆除する「四害駆除運動」が行われました。スズメは国内の穀物を食べているのでその対象になり、推定で1億羽ものスズメが殺戮されたといわれています。

スズメは穀物も食べてはいましたが、たくさんの虫もイナゴも食べていました。その結果、イナゴによる食害が発生し、米の生産を中心に多くの凶作と生態系の荒廃がおこり、中国国内で1500万～5500万人の死者が出たそうです。

これは極端な事例ですが、地球温暖化の影響で大雨や洪水、多種の絶滅によって生態系のバランスが崩れたり、杉の植林が原因で花粉症が国民病になるなど様々なことが人間に返ってきています。生態系が私達の生活の大切な部分を支えてくれている事を知らないで過ごしている人達にも知って欲しいです。
(エコビレ指導員 田川)



編集後記

1月1日、能登半島地震に正月気分も吹っ飛びました。石川県支部、富山県支部の皆さん、大丈夫かしらと気をもんでいました。少しでも早い復旧、復興をお祈りしています。

北陸新幹線が金沢から敦賀駅まで延伸されて、3月16日(土)無事開業されました。最寄りの「越前たけふ駅」は市街地から離れており、不便さを訴える人もいます。京都・大阪へのアクセスも今までより不便に。コロナも5類に引き下げられて、これから本格的に北陸ブロック&連盟京都との交流ができると楽しみに思っていたのですが・・・。次回の交流会、皆さんの元気な顔が見られますように。

(野村)

越前市エコビレッジ交流センター【住所】福井県越前市湯谷町25-25-2

Tel/fax 0778-28-1123 E-mail info@ecovilg.jp

URL <http://www.ecovilg.jp/>



～風だより～

こうのとりの

第9号
2024.4.1

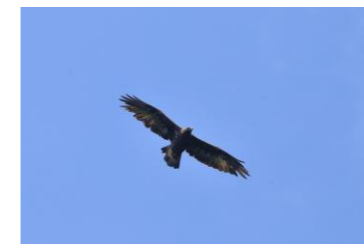
越前市エコビレッジ交流センター
(公財) 日本鳥類保護連盟福井県支部

新年度への思い

日本鳥類保護連盟福井県支部長 林 昌尚

新年度が始まりました。鳥たちも『冬鳥』の多くが去り、ヒバリなどの春を告げる鳥たちの囀りが聞こえ始めました。3月9日に今年初めてのツバメ(イワツバメ)を見つけました。雪が舞うような寒い日でしたが、確実に季節は動いています。ちなみに昨年の初見は?と日記を見てみると、3月8日でした。

昨年12月から鯖江市の北東部に広がる田園地帯に、絶滅危惧種『ソデグロツル』が1羽飛来しています。世界中でも3,000羽程度しか棲息していないそうです。連日ツルを見ようとする愛鳥家や写真家などで、農道には車がズラリ!私が確認に行った際には、ツルの目の前まで近寄ってスマホやカメラで撮影する人までいて、ストレスがかからないか、とても心配でした。もう少し、そーっとしておいてほしいものですね。



さて、今年度の私の個人的な目標は、昨年会うことが出来なかった『部子山のイヌワシ』にもう一度会うこと。この個体がいつからこの地で繁殖していたのか?何歳ぐらいなのか詳しいことはわからず、ひょっとして一昨年か昨年にかけて死んでしまったか、縄張りを移動してしまったのかもしれませんが、それを出来れば確認したいと思います。一度その大きな翼で、羽ばたきもせず悠々と空を舞うその姿を見てしまうと、完全に虜になってしまうと思います。

皆さんと出かける夏の部子山登山の際にも出会えると良いですね。

日鳥連福井県支部通常総会開催

3月弥生とは名ばかりで、底冷えのする寒い日となった3月2日(土)、午後1時半から越前市エコビレッジ交流センターにて、令和5年度の通常総会が開催されました。



【第1号議案】令和5年度事業報告【第2号議案】令和5年度会計報告【第3号議案】令和6年度事業計画(案)【第4号議案】令和6年度予算(案)までスムーズに進み、最後【その他】のところでは、活発なご意見を出していただくことができました。6年度も楽しみながら活動していけたらと思います。皆さまご協力のほどよろしくお願いします。

越前市坂口地区のコウノトリ情報



イチローくん（♂J0161）、ななちゃん（♀J0078）の坂口地区（下中津原町）ペア、ただ今抱卵中。4年目に入ります。時を同じくして白山地区のほまれくん（♂J0169）、みやび（♀J0132）の安養寺巣塔ペア、みほとくん（♂J0481）、ゆめちゃん（♀J0119）の中野巣塔ペアも抱卵に入っています。中野巣塔ペアは産卵はするのですが、孵化をしたことがありません。今年こそ吉報を。

今回、イチローくんたち面白い行動をしました。2月上旬、人工巣塔から南へ直線距離にして300mほどの、民家の玄関先の電柱に巣づくりを始めたのです。一度巣材は撤去されたのですが、程なくして同じ電柱にまたもや巣づくりを始めました。直ぐに県の支援本部に連絡し、市から業者に連絡をして頂いて、夕方までに撤去された。

3年も続けて巣作りをし、子育てにも成功している巣塔をなぜ使おうとしなかったのでしょうか？ 巣塔の方が環境的には静かな場所です。何故にあえて民家が数件立ち並ぶごちゃごちゃしたところを選び、電柱を使おうとしたのでしょうか？ すぐそばに巣塔はあるのに！ 本当に不思議でなりません。

その後、電柱を諦めて巣塔の方に戻るのですが、一向に巣作りを始めませんでした。今年はどうなるのか、不安で仕方なかったのですが、2月21日、巣塔上で交尾も見られ、3月に入ってようやく伏せているのを確認できました。やれやれです。

それにしても、一体何があったのでしょうか。新居が欲しくなったのでしょうか？ ハラハラドキドキさせた今回の巣づくり。無事に繁殖までこぎ着けますように。（野村）



2/16 仲良く電柱にいるわ～

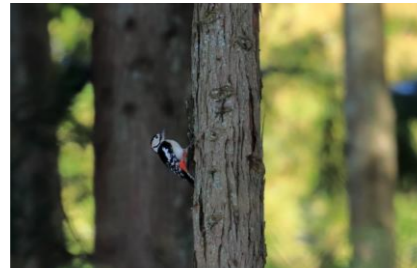


あらら、電柱に巣づくり！



夕方までには撤去されました(ホッ)

エコビレでは、四季を通して周辺の自然環境を活かした講座を企画しています。1月27日(土)には、坂口エコミュージアムウォーク「里山の冬を見つけよう」を開催。林昌尚支部長から当日の素敵な写真が届きました。



2024年度の福井県産ツバメ3種巣調査のお願い

日本鳥類保護連盟福井県支部 大坂 秀樹

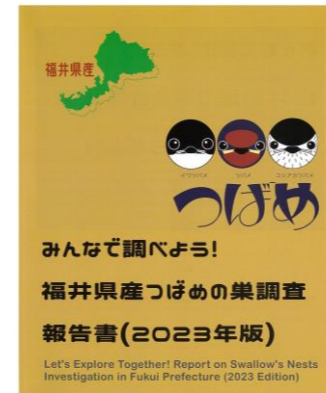
連盟に加入して1年不足です。2年前に越前市に戻り、野鳥音声解析&市民科学をサポートする「トリルラボ」の代表をしております。

福井市自然史博物館とトリルラボは、ツバメ3種の巣調査を通して地域の自然に愛着を持ってもらい、福井県内（石川県加賀市・小松市含む）のツバメの生息状況や生息環境などを明らかにするために、市民による“ツバメ”3種の巣マップ作りを行っています。今年で3年目です。ツバメの巣はどこにあるのか！ 調査のご協力をお願いいたします。

期間中、見られたツバメ、イワツバメ、コシアカツバメの巣の情報をスマホで送ってください。写真添付も大歓迎。個人情報の入力は不要です。

- 期間：2024年05月01日～2024年07月31日
- 調査範囲：福井県および石川県加賀市・小松市
- 調査方法：ツバメ、イワツバメ、コシアカツバメの巣を見つけたらスマホで次のサイトにアクセスしていただき、情報入力して位置を教えてください。
- 登録サイト：<https://www.torir.net/cgi/mymap.cgi>

2022年と2023年の調査では、ツバメの巣は全市町で登録がありましたが、イワツバメ、コシアカツバメでは登録のない市町も多く県レベルで把握は途上です。イワツバメでは海沿いの加賀市、あわら市、越前町、敦賀市、美浜町の登録がなく、特にコシアカツバメは川沿いの鯖江市、坂井市、あわら市、だけでなく山地の勝山市、永平寺町、大野市の生息状況を今年は確認したいです。



身の回りばかりでなく、出張や旅先での登録もお願いします。また、お知り合いの方にもお伝え願えたらと思います。

データ登録頂いた方でご希望の方は2024年度版の報告書を進呈いたします（登録時に連絡用のメールアドレスを入力してください）。

文責（トリルラボ代表 大坂英樹、torir.lab@gmail.com）

←2023年度報告書